

～小中高生の「海外」に関する意識調査～

**小中高生は平均 6.3 歳で初めての海外旅行を経験！
小中高生の 9 割以上が学生のうちの語学習得を必須と回答
小中高生が海外旅行に一緒に行きたいタレントトップ 3 は、
男性 1 位「福士蒼汰」さん、女性 1 位「ローラ」さん**

クラウド型学習システム「すらら」を展開する株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦)では、シルバーウィークを前に「小中高生の『海外』に関する意識調査」を小中高校生の男女に実施しました。

1) 小中高生で、海外旅行に行ったことが「ある」のは 3 割以上！

初めての海外旅行は平均 6.3 歳！これまでの海外旅行回数 3.6 回

2) 海外旅行に行きたい小中高生は 8 割以上！

行きたい国トップ 3 は「アメリカ合衆国」、「フランス」、「イタリア」

3) 語学力を身につけたい小中高生 9 割以上！しかし実際に語学の学習をしているのは約 6 割

4) 語学力を学生のうちに身につけるのが必須と考える小中高生は 9 割以上！

5) 小中高生が海外旅行に一緒に行きたいタレント、

男性 1 位「福士蒼汰」さん、女性 1 位「ローラ」さん

1) 小中高生で、海外旅行に行ったことが「ある」のは 3 割以上！

初めての海外旅行は平均 6.3 歳！これまでの海外旅行回数 3.6 回

小中高生を対象に、これまでに海外旅行に行ったことがあるか聞いたところ、3 割以上(33.8%)が海外旅行に行ったことがあると回答しました。

学校種別にみると、小学生では 39.5%、中学生では 31.5%、高校生では 42.2%と、年齢と海外旅行に行ったことがある割合には相関関係がありませんでした。高校生において割合が高いのは、修学旅行で海外に行く学校があることが影響しているのかもしれませんが。

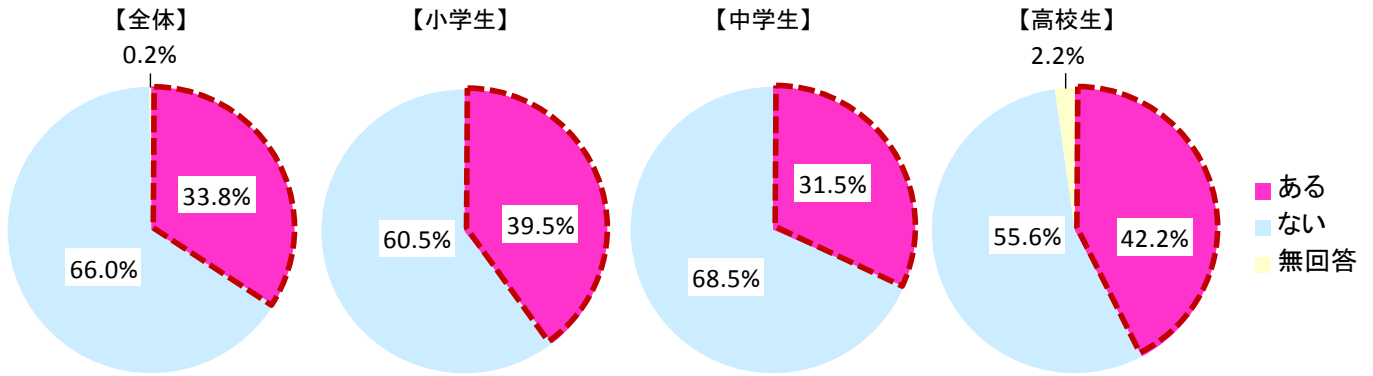
さらに海外旅行に行ったことが「ある」と回答した方を対象に初めて海外旅行に行った年齢を質問したところ、平均 6.3 歳でした。

学校種別にみると、小学生は 5.2 歳、中学生は 6.5 歳、高校生は 6.9 歳で、年齢が若いほうが、早いうちに初めての海外旅行を経験しています。

また、海外旅行に行ったことがある小中高生の、これまでの海外旅行回数は平均 3.6 回という結果でした。

※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「すららネット調べ」とご明記下さい。

■結果:「これまでに海外旅行に行ったことはありますか?」の回答 (単一回答)



■結果:「【「ある」と回答した方】初めて海外旅行に行ったのは何歳の時ですか?」の回答より平均を算出 (単一回答)

全体	小学生	中学生	高校生
6.3歳	5.2歳	6.5歳	6.9歳

■結果:「【「ある」と回答した方】海外旅行に何回行ったことがありますか?」の回答より平均を算出 ※異常値を除いて算出

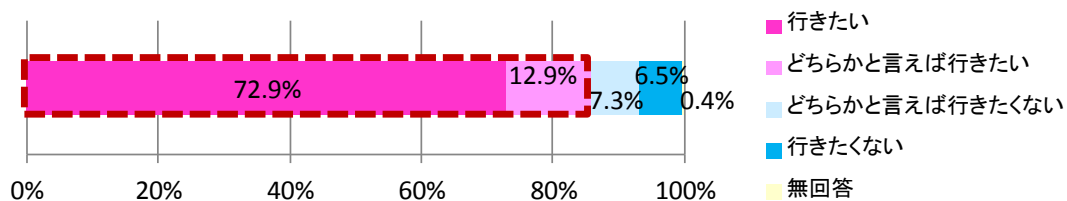
全体
3.6回

2) 海外旅行に行きたい小中高生は 8 割以上!

行きたい国トップ 3 は「アメリカ合衆国」、「フランス」、「イタリア」

海外旅行に行きたいかという問いに対し、8 割以上 (85.8%) の小中高生が「行きたい」と回答しました。また、一番行きたい国を聞いたところ、トップは「アメリカ合衆国」、次いで「フランス」、「イタリア」という結果となりました。「アメリカ合衆国」を選択した理由では、海やビーチがきれいといった自然・景観を楽しみたいという声が多く、ハワイやグアムをイメージしていると思われる回答が多数でした。「フランス」はエッフェル塔や凱旋門などの観光スポットを訪問したいという声やスイーツ、パンなどの食を楽しみたいという声がありました。「イタリア」も、ピザやパスタなどの食を楽しみたいという理由が圧倒的に多く挙がっていました。

■結果:「海外旅行に行きたいですか?」の回答 (単一回答)



■結果:「【「行きたい」と回答した方】どこの国に一番行きたいですか?」の回答 (自由回答)

順位	回答	%
1	アメリカ合衆国	37.4%
2	フランス	8.3%
3	イタリア	7.9%
4	イギリス	4.0%
5	オーストラリア	3.5%

3) 語学力を身につけたい小中高生 9 割以上！しかし実際に語学の学習をしているのは約 6 割

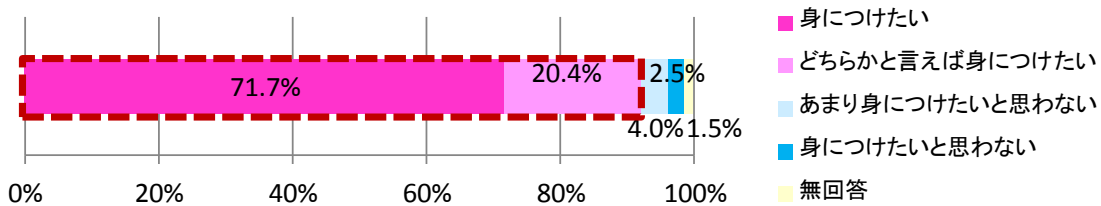
小中高生に語学力を身につけたいと思うか聞いたところ、9 割以上 (92.1%) の小中高生が「身につけたいと思う(「身につけたいと思う」71.7%・「どちらかというと思身につけたいと思う」20.4%の計)」と回答しました。

加えて、どのように語学を身につけたいかとの間では、トップ 3 が「学校の授業」、「学習塾」(ともに 54.8%)、「海外留学」(34.0%) という回答になりました。また、実際に語学力を身につけるために授業以外でも学習をしているかどうかでは、「している」が約 6 割 (64.8%) でした。

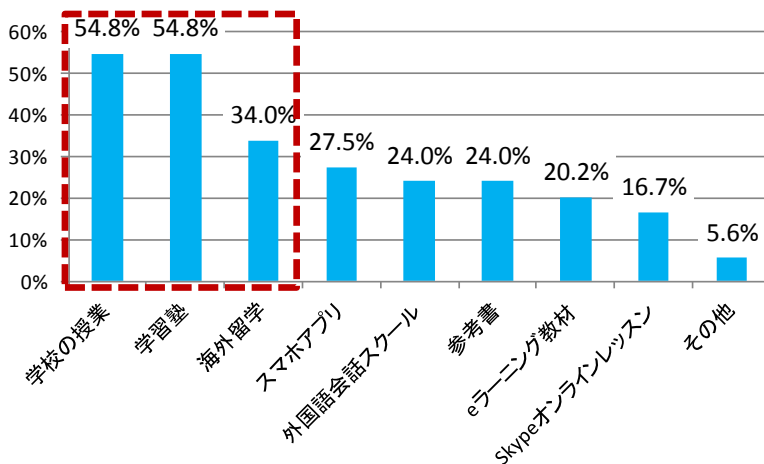
語学力を身につけたい思いはあるけれど、実際、行動に移すに至らないというのは大人も小中高生も変わらない傾向のようです。

また、2)の「海外旅行に行ったことはありますか?」の問いで「ある」と回答した小中高生の場合は、実際に語学力を身につけるために授業以外でも学習していると 7 割以上 (72.8%) が回答しており、外国人とコミュニケーションを取るなどの実体験は語学力習得へのモチベーションにつながるようです。

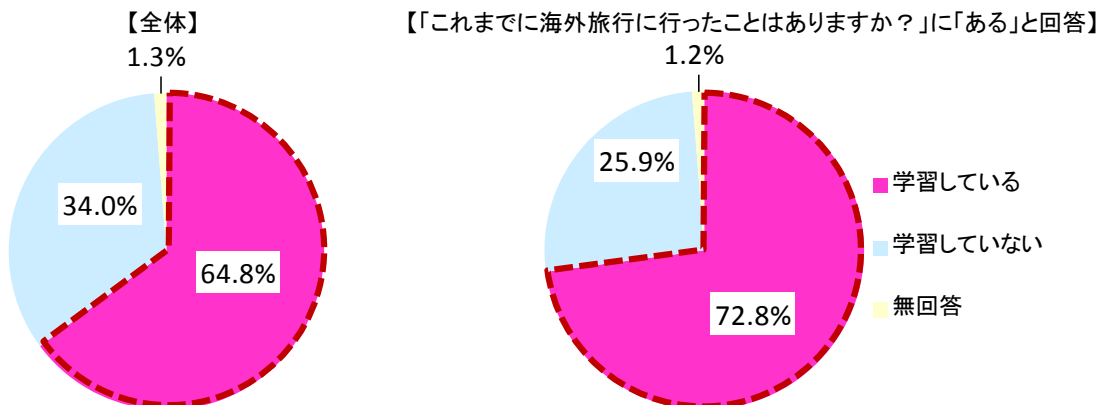
■結果:「語学力を身につけたいと思いますか?」の回答 (単一回答)



■結果:「どのような方法で語学力を身につけたいと思いますか?」の回答 (複数回答)



■結果:「実際に語学力を身につけるために授業以外でも学習していますか?」の回答 (単一回答)

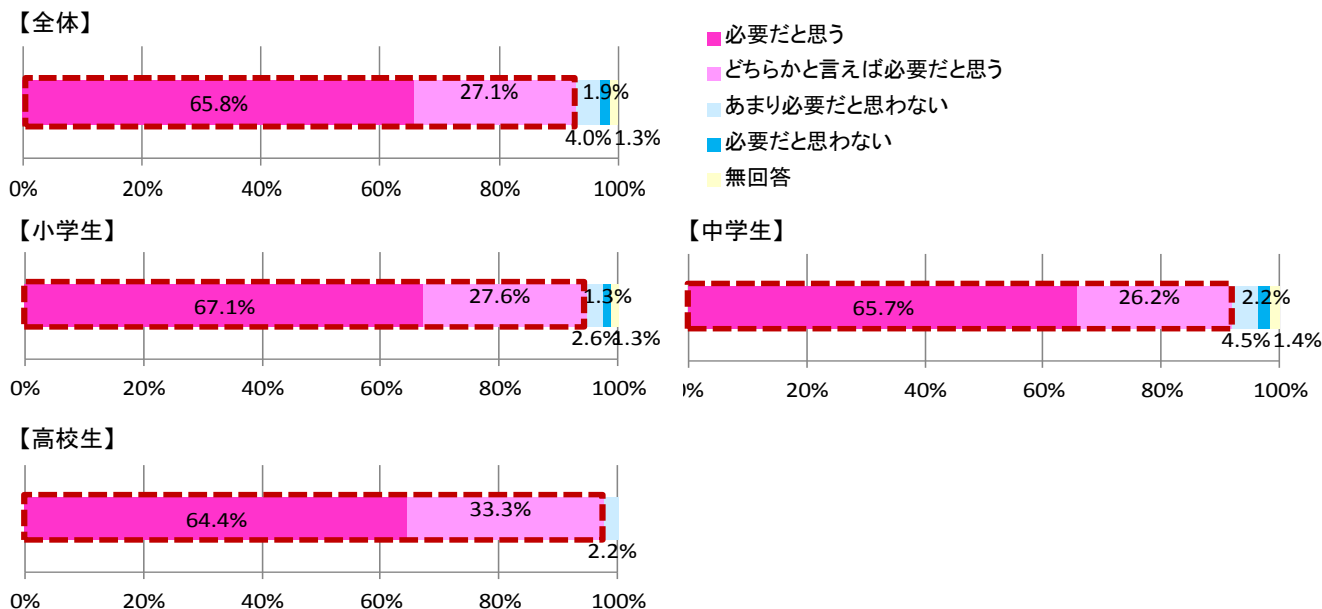


4) 語学力を学生のうちに身につけるのが必須と考える小中高生は9割以上！

学生のうちに語学力を身につけることは必須だと思うか、との問では、9割以上(92.9%)が「必須だと思う(「必須だと思う」65.8%・「どちらかというとも必須だと思う」27.1%)の計」と回答しました。

学校種別において、高校生では「必須だと思う(「必須だと思う」64.4%・「どちらかというとも必須だと思う」33.3%の計)」が97.7%と、100%にかなり近い割合が回答しています。周囲に社会人になるのが目前に迫った子もいる環境のなかでは、語学力は強みではなく、必須事項と捉える割合が高まるのではないかと考えられます。

■結果:「学生のうちに語学力を身につけることは必ず必要だと思いますか?」の回答 (単一回答)



5) 小中高生が海外旅行に一緒に行きたいタレント、男性1位「福士蒼汰」さん、女性1位「ローラ」さん

海外旅行に一緒に行きたいと思うタレントは誰か聞いたところ、男性タレント1位は「福士蒼汰」さん、2位は「DAIGO」さん、3位は「大泉洋」さん、女性タレント1位は「ローラ」さん、2位は「広瀬すず」さん、3位は「有村架純」さんという結果となりました。

男性タレント1位「福士蒼汰」さんは、優れた容姿で英語が得意とも言われていることから、女性タレント1位の「ローラ」さんは明るくて英語も話せ、一緒に旅行したら楽しく旅ができそうということから選ばれたのではないかと考えられます。

■結果:「一緒に海外旅行に行きたいと思うタレントは誰ですか?」の回答 TOP5 (単一回答)

【男性編】

順位	回答	%
1	福士蒼汰	16.9%
2	DAIGO	11.3%
3	大泉洋	9.4%
4	相葉雅紀(嵐)	9.0%
5	山田涼介(Hey! Say! JUMP)	7.3%

【女性編】

順位	回答	%
1	ローラ	21.9%
2	広瀬すず	14.8%
3	有村架純	10.8%
4	北川景子	9.4%
5	杏	5.4%

<調査概要>

- 1) 調査名 : 小中高生の「海外」に関する意識調査
- 2) 調査方法 : クラウド型学習システム「すらら」のログイン画面にて回答を得た
- 3) 調査対象 : 小学1年生から高校3年生までの男女
- 4) 調査期間 : 2015年8月1日~2015年8月20日
- 5) 有効回答数: 480名<男子: 55.6%・女子: 44.4%、小学生: 15.8%・中学生: 74.8%・高校生: 9.4%>

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】英語・数学・国語

【利用者数】約 30,000 名 (2015 年 4 月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型: カリスマ講師のレクチャー動画を視聴するタイプ
「理解」にすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型: 問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型: 携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の“次世代型教育システム”です。

■すららの「ゲーミフィケーション的要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立: 2008年8月 ○ 資本金: 13,795万円 ○ 所在地: 東京都千代田区内神田
- 事業内容: クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL: <http://surala.jp/>